

アグリノート菜園 ^{プラス} **秋どりキュウリ栽培情報** 【おうち栽培支援】 **No.2**

夏野菜はそろそろ終わりを迎え、秋野菜の準備に取り掛かるタイミングとなりましたが、キュウリは整枝・追肥・防除と重要な作業に取り掛かる時期となります。

9月下旬から収穫ができます。収穫を長く楽しむためにも、適正管理に努めましょう。

キュウリ栽培のポイント

①整枝・仕立て

キュウリは生長が早く、実がなりすぎると、苗が早く弱ってしまいます。しっかりと手入れを行いましょう。

【ポイント①】

株元5節までの子づるや雌花は摘心し、親づるの伸びを促しましょう。

【ポイント②】

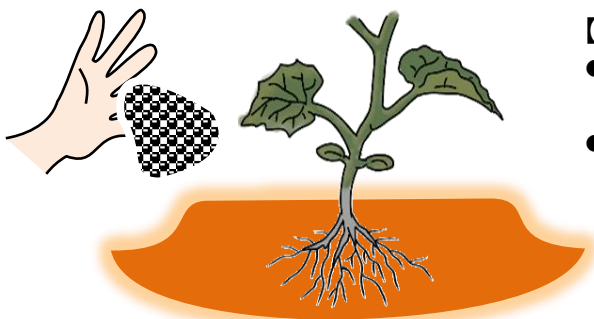
あまり高くまでつるを伸ばすと、収穫や管理が大変なので、親づるは自分の目の高さぐらいで摘心をしましょう。摘心することで、子づるの発生を促すことができます。



②追肥

追肥は1本目の実がなりだした頃が最初の目安です。

肥切れさせないように、収穫終了前まで2週間ごとに追肥を行います。



【ポイント】

- 1回目は株の周辺に施し軽く土と混同させます。2回目以降は畝の両側に施します。
- 追肥は、根が伸びていく範囲に合わせて段々と外側に施しましょう。

③病虫害対策

秋どきゅうりの場合、台風など悪天候時や気温の変化により、各種病害が発生しやすい環境となります。晴れた日を狙って予防散布に努めるとともに、早期発見と発生初期の防除を行いましょう。

【ポイント①】

株元の通気性をよくするために、整枝をしっかり行いましょう。

【ポイント②】

病虫害を発見したら、早期に防除を行いましょう。薬剤は葉の裏・表にかかるよう丁寧に散布を行いましょう。

